# 船木地区活性化計画
# ＜概要版＞

平成27年
(2015)
3月

## 1 計画策定の趣旨

●船木地区は，沼田川及び菅川の流域に平地部が広がり，地区の西部には広島空港，山陽自動車道本郷インターチェンジが立地しています。

●こうした高速交通条件を活かした地区の活性化が期待されましたが，若年層を中心に人口が流出するなど，高齢化・少子化が進行し，地区活動の担い手不足，近隣関係の希薄化，農林業の低迷など，地区の活力が失われてきています。

●こうした状況を打開するには，自分たちの地区のことは自分たち自らで考え，一人ひとりがそれぞれの立場で協力して地区の活性化に取り組むことが一段と重要になっています。

●このため，船木連合町内会では，三原市中山間地域活性化事業を活用し，「船木地区活性化計画」の策定に取り組みました。

**船木地区の位置**

## 2 計画策定の取り組み

●船木連合町内会では，各種団体の代表者などとともに「船木地区地域計画策定委員会」を設置し，「船木地区活性化計画」の策定に取り組みました。

●計画策定にあたっては，住民の皆さんの幅広い意見を聞くために，地区住民（16歳以上），地区外に住み，船木地区に勤務している人，地区内事業所の事業主へのアンケート調査の実施，地区住民を対象とした意見交換会（ワークショップ）を行いました。

**計画策定体制**

船木地区地域
計画策定委員会
・町内会役員
・各種団体の
　代表者
　など

三原市の支援

**計画策定の流れ**

(1) 計画策定の進め方の検討

(2) アンケート調査

(3) 意見交換会
（ワークショップ）

(4) 計画案の協議・とりまとめ

(5) 計画の決定

# 3 地区の活性化計画

## 地区の将来像

**誰もが支え合い，安全にいきいき暮らせる「船木」**

## 地区づくりの基本方針

**基本目標1　安心安全に暮らせる地区**
**基本目標2　若者世代に魅力のある地区**
**基本目標3　地区の特性を活かした産業の活発な地区**

## 地区づくりの基本計画

### 1　高齢者が安心と生きがいを持って暮らせる地区づくり

**＜高齢者の見守り支援体制づくり＞**
○住民，郵便局などが連携した一人暮らし高齢者の安否確認

**＜高齢者の日常生活支援の充実＞**
○高齢者の外出，買い物，草刈り・ゴミ出しなどの支援の検討

**＜高齢者の交流と活躍の場の確保＞**
○高齢者サロンの充実
○高齢者の活躍の場の確保（農業の技術指導，昔の遊びの子どもへの継承など）

**＜高齢者の総合的な支援体制の確立＞**
○社会福祉協議会，老人会・老人クラブなどと連携し，高齢者を総合的に支援する体制づくりの検討

### 2　若い世代が暮らしやすい地区づくり

**＜若者定住・ＵＪＩターンの促進＞**
○空き家，休耕田を活用したＵＪＩターンの促進
○地区内就職希望者への求人情報の提供の検討

**＜子育て支援の充実＞**
○子育てしやすい環境づくり，放課後児童クラブの充実，子どもが活発に交流できる場の確保
○子どもの遊び場づくり（公園広場の確保，沼田川河岸の活用）

## 3　安全な環境と美しい景観のある地区づくり

**＜船木地区を挙げての沼田川の環境保全の推進＞**
○沼田川の環境改善（竹林の伐採，草刈り，桜並木の保全など）
○沼田川の防災情報の迅速な提供

**＜災害時避難体制の整備＞**
○安全な災害避難場所の確保と住民への周知，避難訓練の取り組み
○各戸への災害・避難情報の適確な伝達方法の検討

**＜地区の美しい景観づくり＞**
○地区を挙げての定期的な清掃活動の推進

## 4　農林地の保全・活用を推進する地区づくり

**＜農地の保全と担い手の育成＞**
○イノシシなどの有害鳥獣被害防止対策の推進
○既存農業生産法人の活動支援，新規農業生産法人設立の働きかけ
○新規就農希望者の募集

**＜林地の保全と活用＞**
○山林の雑木の伐採，チップづくりを行い，肥料として活用
○都市住民等へ林業体験（見学，学習，体験等）の場として提供

## 5　沼田川を核とした交流の活発な地区づくり

**＜沼田川などの自然資源の活用＞**
○船木峡，遊水広場，女王滝の整備，ホタルの里づくり

**＜歴史文化資源の活用＞**
○地区の歴史文化の掘り起こしと名所，史跡巡りのコースづくり

**＜イベントの活性化＞**
○本郷沼田川あゆまつりの活性化，霹靂神社のイベント創出の検討

## 6　地区活動の推進と一体感の醸成

**＜行事・祭りの活性化＞**
○参加者を増やす取り組み，とんどなどの行事の開催単位の見直し
○既存の行事・祭りの活性化，行事・祭りでの地元農産物などの販売の検討

**＜地区の歴史文化の継承＞**
○歴史文化，伝統芸能などの掘り起こし及び継承と歴史文化学習を通じた子どもの郷土愛の醸成
○「船木地区誌（仮称）」の編纂，地区案内看板の設置

**＜地区の一体感の醸成＞**
○世代間交流の推進，誰もが集い，交流できる場づくり
○イメージキャラクターづくり，ミス船木の募集などの取り組み

# 4 計画の推進体制

## ❶ 計画の周知，取り組みへの参加の働きかけ

〇船木地区活性化計画概要版の全戸配布
〇町内会及び関係組織の会合で船木地区活性化計画の説明

## ❷ 計画の推進体制づくりと段階的な取り組みの推進

＜計画の推進体制づくり＞
〇地区活性化計画を推進するために，計画推進組織を船木連合町内会の中に設置，若者の参加の働きかけ
〇船木連合町内会などの事務局の確保
〇町内会活動の体制づくりの検討
〇地区内の事業所に行事・祭りなどへの参加の働きかけ
〇人材バンクの設置，登録による適材適所の人材活用の推進

＜段階的な取り組みの推進＞
〇優先的に行う事業を検討し，段階的な取り組みの推進

＜取り組みへの多様な担い手の参加の確保，人材の育成＞
〇住民，各種団体，事業所，ＮＰＯ法人などとの連携の強化
〇地区出身者及び都市住民の応援，三原市などの支援の活用
〇講習会，研修会，先進地視察などの実施による人材の育成

## ❸ 情報の受発信体制の確立

＜地区内向けの情報発信＞
〇船木連合町内会だよりの発行の検討
〇若者世帯などに対し，インターネットを活用した情報発信

＜地区外向けの情報発信＞
〇インターネットを活用した船木地区の情報発信体制づくり

＜人材の確保＞
〇船木連合町内会のホームページを管理，活用できる人材の確保，育成

＜問い合わせ先＞
船木連合町内会（船木地区地域計画策定委員会）